

2011年度

科目名	介護概論				
担当教員	中田 智子				
配当	教福2		コード	14028	
開期	後期	講時	月曜日4限	単位数	2
授業テーマ	社会福祉士に必要な介護の知識・技術、関連職種との連携について学ぶ				
目的と概要	高齢社会の益々の進展は介護の社会化の必要性を一層押し進めています。誰もが安心して豊かな老後を迎えるためには、介護に対する認識や理解を高める必要があります。介護サービスをコーディネートする専門職として社会福祉士は介護についての深い知識と基礎的技術の習得が必要です。また、保健医療福祉の専門職だけでなく、個人・家族との連携も必要であり、これら介護の全般について学んでいただきます				
成績評価法	定期試験70% レポート点15% 平常点15%				
テキスト	社会福祉士養成講座14 介護概論 社会福祉養成講座編集委員会編集 中央法規出版				
参考書	①社会福祉士養成テキストブック12 介護概論 第2版 澤田信子・西村洋子編著 ミネルブア書房 ②新版・社会福祉学双書2007 13 介護概論 新版社会福祉学習双書編集委員会編 全国社会福祉協議会				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	授業中の私語厳禁、疑問質問があれば出席カードを積極的に活用してください、平常点に加味します。 テキストをよく読んで予習すること、初回の授業で質問します。				
講義計画					
1. 社会福祉士に求められる介護		社会福祉士が介護を学ぶ意義、介護における社会福祉士の役割			
2. 介護を取り巻く社会背景		介護の誕生、介護の原則・目標、倫理介護の機能・役割			
3. 介護を必要とする対象理解		障がい者、高齢者・家族の特性、健康状態の把握			
4. 介護に関連する法		介護保険制度 ケアマネジメント			
5. 介護に係る関連職種		保健・医療・福祉職の理解と連携			
6. 介護技術総論 1		身辺介護の技法（QOL、健康観察）			
7. 介護技術総論 2		コミュニケーション技法、レクリエーション技法			
8. 介護技術総論 3		自立の考えかた、住環境整備の意義と方法			
9. 介護技術各論 1		日常生活の援助（食事・排せつ）			
10. 介護技術各論 2		日常生活の援助（清潔・衣服の着脱）			
11. 介護技術各論 3		移動困難な人の援助（車いす等実技演習）			
12. 介護技術各論 4		日常生活援助（安全と危機管理）			
13. 介護技術各論 5		認知症高齢者の理解と援助			
14. 介護技術各論 6		在宅ターミナルケアと福祉用具の活用			
15. 総括					